

校長だより

福津市立福間東中学校
校長 猪股 清貴
平成27年12月16日 No40

これからの福間東中を創る

～生徒会役員選挙～



昨日生徒会役員候補者による立会演説会が行われました。左の写真はその時の様子です。候補者の演説と真剣に聞き入る生徒の姿です。これからの福間東中学校を更に良くしていきたいという思いを18人の候補者がそれぞれ自分の言葉で誠実に訴えました。そして、その候補者がいかに役員にふさわしいかを応援責任者が説明してくれました。11月13日の選挙管理委員会発足から約1カ月にわたって取り組んできた次期生徒会役員選挙もいよいよ本日投票を迎えました。（下は雨の中選挙運動する生徒たち）

生徒会選挙とは自分たちの代表を生徒会と言う実行組織に送り出すことです。つまり、自分たちの学校生活をよりよいものに発展させてくれる人を選び出すことです。この選挙は皆さんがやがて参加する大人の政治の世界で立派に選挙をするための訓練でもあります。選挙権も18歳に引き下げられました。だから、日本の将来に関わりがある大切な問題でもあるのです。生徒会役員の選出は福間東中学校のよりいっそうの発展を自分たちの願いや希望と結び付けて実現してくれる人を選び出すということなのです。昨日の演説を思い出し、一人が責任を持って一票を投じてください。



また日ごろの活動、行動をよく思い出し、一人

場に応じた対応ができる東中の生徒たち



昨日の演説会で感心したのは一生懸命に未来の学校への思いを語る候補者の演説に対して顔を上げ公約が書かれたプリントと見比べながら真剣に聞き入るフロアの生徒の姿です。最後に日笠先生がおっしゃいました。「投票について話をしようかと思いましたが、その必要はないようです。真剣に聞き入る皆さんの姿を見て安心しました。明日の投票は大丈夫ですね。」と、この言葉に心の中で拍手を送りました。